

ワニのガルド

ワニのガルドとワニのガルド

3年 U・Rさん

「ワニのガルド」とは何者なのでしょっか。ヒナちゃんとアヤカちゃんをばばましてくれたワニのガルドはさみしい人々をどんなに元気にさせていくのでしょっか。私ははじめからこのようなき間をかかえていました。

この世界で気持ちには正解や間ちがいなどありません。いつ、どこで、どんな気持ちになってもかまわないと思います。私にもたくさん悲しくてさみしい経験がありました。こんな時、ワニのガルドと同じそん在をしているのは父と母です。悲しい時は元気を出すよう、はげましてくれて、楽しい時はみんなで笑い合っ。

いいえ、父と母だけではなさそうです。いつも学校ではげましてくれた先生や友だちもワニのガルドでしょう。林間学校の時を思い出しました。その日、私は具合が悪くなってしまい、くやしーと思いつつ、山登りをあきらめようとした時、先生が「心配しないで、そばにいるから」と、面倒を見てくれました。友だちも「手を出して、頂上までつれていくよ」と、助けてくれました。物語の最後にヒナちゃんとアヤカちゃんも私と友だちのように、仲良くなっておたがいの親友になれました。

「学校に行きたくない」と思っていた二人なのですが、きちんと友だちを作る「力」をもっています。その「力」があるからこそ、ワニのガルドが消えてしまっても、「むねの中に大きな星がひかっている」ように、二人とも強くなれたのです。「さよなら」したのはワニのガルドではなく、昔のさみしかった自分のことです。本当のワニのガルドは消えずにずっとそばにいます。それは親、先生と友だち、それに周りの人々の「愛」のことです。そしてゆう気を出して自分の中の暗い気持ちと向き合って、その「愛」を受け入れる自分のことです。